

デジタル X 線テレビシステムの導入

最新鋭のフラットパネル搭載 X 線テレビシステムを、**2 台導入**します。

従来のフィルム撮影からデジタル撮影に変更され、多様な検査に対応できるのみでなく、**高画質と被ばくの低減を両立**させることができます。

高機能・安心機能

- ・ 最大 17×17 インチ(43cm×43cm)の広い**範囲が観察**できるため、腹部全体などを同一画像内で観察可能です。
- ・ 寝台が床から 47cm まで下がるため、**乗り降りがしやすくなりました**。
- ・ 映像系の可動域が長く、**車いすのままの検査も可能です**。
- ・ **トモシンセシス(デジタル断層撮影)**が可能となり、CT が不得意であった金属からのノイズを抑えた断層撮影を低被ばくで行うことができます。
- ・ **長尺撮影(全脊椎や全下肢等の広い範囲の撮影)**が、従来の撮影方法より正確に、また短時間で行えます。

トモシンセシスの画像



スロットアドバンス(長尺撮影)



X線テレビ室